

多くなっている
逆流性食道炎



胃液が食道に逆流してくるため、食道の下の方が刺激されたり、傷められたりすることによって起る病気です。

いろいろな症状がおこります。

むねやけ



みぞおちの辺から胸のほうへ、かけて焼けつく、熱くなる、痛いといった感じですが、その他、ゲップが良く出るすっぱいものが上がってくる。

わかりにくい症状

- 胸が痛む
- しつこい咳
- 背中の痛み
- などあり、心臓病や、他のいろいろな病気を心配する人がいます。

脂肪の多い食事をとる人

日本人の食生活はますます欧米化が進み、肉や脂肪分の摂取が多くなっていますが、こうした食事で胃が刺激されやすく胃酸の分泌も活発になります。このほか、食べすぎや飲みすぎ、香辛料、コーヒー、アルコールのとりすぎもよくありません。

背中が曲がっている人

背中が曲がり前かがみの姿勢でいると、おなかの圧迫(腹圧)が強くなり、胸部の圧力(腹圧)が強くなります。こうした状態でも胃が押しつぶされ、胃酸が逆流しやすくなります。

高齢である

年齢とともに、食道裂孔が緩んで広がりやすくなり、下部食道括約筋(LES)の機能低下も加わって食道の機能も衰え、胃酸が逆流しやすくなります。

妊娠している人

妊婦さんも、おなかが大きくなるために胃が押しつぶされ、胃酸が逆流しやすくなります。

呑酸(どんさん)・げっぷ

口のなかまで酸っぱい液がこみあげられる。

胸の痛み

食道への刺激が強いと、胸がしめつけられるような痛みを感じる。

胃もたれ

胃のなかの食物を消化したり、腸に送り出す動きが弱く、食べ物がいつまでも胃に残ってしまう。

のどの違和感

逆流した胃酸によりのどに炎症が起き、痛みや違和感を感じる。声がかすれたりすることもあ。

咳・気管支炎

逆流した胃酸が気管に吸いこんで咳きこんだり、気管支が炎症を起こす。

耳の痛み

食道への刺激がときには耳の痛みとしても感じられる。

特徴があります

夜間や起床時に感じる事が多く、水を飲んだり、物を食べたたりすると軽快します。寝ると胃液が逆流しやすくなり、起きて、水や食べ物摂ると胃液が洗われるからです。

どうしてこの頃多くなったのでしょうか



高齢で肥満傾向の人が多くなり、食べ物が高齢者でも若者との差が少なくなってきたからです。

高齢になると、胃と食道を区切っている膈門の括約筋がゆるんでしまします。そこで肥満がありますと、胃が下から押し上げられます。そうすると胃液の逆流が起りやすくなります。その胃液に酸が多いと刺激が強くなります。

昔は、高齢者はあまり脂っこいものを食べなかつたので、胃の酸が弱かつたのです。

治療



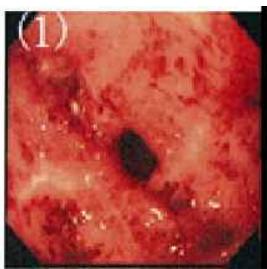
胃酸をさげるような薬でよくなります。

逆流が起きないようにする手術もあるといつことですが、寝る前に薬を飲むことでほとんど問題がないようにすることが出来ます。

診断



内視鏡(胃カメラ)を使って、食道や胃のもっと悪い病気でないのを確かめます。食道の末端部が荒れているのが、分かることもあります。



荒れた食道末端部

11月・12月の休診日

休診 日曜・祭日
午後休診 水曜・土曜

第4木曜日午後休診

12月29日(金)午後
~1月3日(水)
年末年始
1月4日(木)午後

E・メールを送って下さい。
norikazu@okutu.jp



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。
受け付けからのお願い
月初めには必ず保険証を受け付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。
編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。